

第6回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成31年3月19日（火）10:00～11:00

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第4会議室

3 出席者

(1) 委 員 中川委員長、下澤委員、佐々木委員、藤田委員、有田委員、池井委員、鈴木委員（順不同）7名出席

(2) 鳥取市 （協働推進課）宮崎課長補佐、平野主事
（生涯学習・スポーツ課）山本主幹

4 議 事

(1) 報告事項

参画と協働のまちづくりフォーラムについて

(事務局)

【資料1】説明

(2) 協議事項

市民自治推進委員会意見書について

(事務局)

【資料2】説明

(委員長)

意見書自体は25日に私と副委員長で市長へ提出する予定としている。追加の意見があればこの場で言っていただきたい。

(委員)

防災は自助が基本だが、自分一人ではどうしてもできない時には地域で関わっていかねばいけない。災害発生時に単身世帯の安否確認を地域でどういうシステムでするのかとか、母子家庭で現実的に地域の役ができない世帯などをまちづくり全体の中でみんなで助け合うような仕組み作りがないといけないと思っている。

そういったところに視点を当てて、まちづくりを考えていかないと、行政だけの力ではとてもできない。もっと住民に対して、課題をデータで提示するような機会を作って示していかないといけないと思った。

(委員長)

今後いろんな地域で、地域のあり方検討等が始まっていくときに防災の視点をもう少し入れたり、数字をちゃんと見せたうえで住民に考えてもらった方がより具体案がでる、というご意見だったかと思う。

他になれば、今の案の「今後に向けて」というところにうまく入れ込めたらと思う。

最終的には事務局と私の方で少し訂正文を考えさせていただいて、委員長責任で最終確定をさせていただく。

(委員)

医療福祉の視点というのが全く入っていない。これからの少子高齢化社会の中でやはり医療福祉という視点をもうちょっと入れていただきたい。例えば災害時の要支援者の把握の仕方とか、いかにそれを支援していくかというようなことなど、防災にもつながる。それが町内会の役割でもある。

(事務局)

ご意見等はまた委員長と改めて相談、調整できたらと思っている。地域共生社会の取り組みも鳥取市は力を入れて本年度からやろうとしている。災害時の要支援のことも含めて記載できたらと思う。

(委員長)

今いただいたご意見の部分を入れ込んで、提出をしたい。

来期の活動計画について

(委員長)

我々の任期は終わるが、これまで議論いただいたので、今後どうなるかということ共有しておきたいということか。では事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

資料の説明に入る前に、議会での議論等の近況を報告したい。2月4日の市政統括推進本部で、検討状況の報告と、2月の議会に、組織を一体化した地区には

試験的に資金を一括交付する仕組みの予算の提案をしたいという話をさせていただいた。そのことに関して、2月議会でもご質問等いただいている。予算委員会では具体的に新たな制度のことに質問をいただき、地域の実態に合ったものを考えていってほしい、地域の実情はそれぞれ異なるので選択できるような仕組みにしていった方がいいのではないか、というようなご意見もいただいた。最終的に3月22日の議会最終日で予算可決されれば具体的に動いていこうとしている。

また、協働推進課は4月から市民生活部になる予定となっている。近況ということで報告させていただく。

【資料3】説明

(委員長)

今やっている中で、入れた方がいいニュアンスやコメントとして残しておいた方がいいことがあればご意見いただきたい。

(委員)

自治基本条例の見直しの答申はいつやるのか。

(事務局)

3月に答申をして、条例を変えるということになれば、条例提案が平成33年度の9月議会になると思う。

(委員)

平成31年度の活動報告書の作成というのは、作った後はどうするのか。

(事務局)

市長に報告する形はとっていないが、協働のまちづくり推進本部会議という市の内部の会議があり、そちらに委員会の意見として資料提出させていただくように考えている。

(委員)

活動報告書の作成期限も決めといたほうがよい。

(事務局)

明文化されているわけではないが、過去の経過からすると、1年目が中間報告のような形で活動報告書があり、2年目が終わった後に意見書の提出となって

いる。特に支障がなければ活動報告書については、3月末に取りまとめていただき、4月以降の直近に開催する協働のまちづくり推進本部会議に提出できるようにしたいと思う。

(委員)

意見書は非常によくまとめられていると思う。差支えなければ各公民館にも配って、公民館の委員さん、館長さんをはじめ、皆さんにも見ていただいたらよいと思う。どういう問題を抱えて議論をやっているのか見ていただいたら、いろいろな意見が出てくると思う。

(事務局)

いろいろな場で説明できるように調整したいと思う。

(委員)

館長会やまちづくり協議会の集まり、自治連合会の集まりといったところにてできるだけ情報提供をしていけたらよい。

(委員長)

情報提供を幅広くしていただきたいと思う。あとは活動報告書の作成期限も明記できるとよいと思う。

(事務局)

この委員会で皆さんから地域組織のあり方について、意見をいただき、議論が進む中で、ようやく予算化が一部できるなど検討が進んでいる。この議論は社会教育委員会議でも行なわれており、市民自治推進委員会で提出させていただいた同じ資料で説明を行っている状況である。最近、教育委員会の方でも、社会教育と地域づくりは連携してやっていく必要があるのではないかという議論になりつつある。報告になるが、地区ごとの公民館にある公民館運営委員会が、公民館条例の施行規則で必置規定になっていたが、教育委員会の方で検討がなされ、館長が認める場合には地域住民の意向が反映できるような地域組織があれば代わりにその役を担ってもよい、という一文を追記することを、今度の教育委員会にて承認される見込みとなっている。

(委員)

4年間委員をさせていただいたが、最初は地域のあり方の検討が進まず、何だこの委員会は、と思っていましたが、今ようやく各地に出向いてフィールドワークと

いった形で議論が進みだしたところを見届けることができた。今後もがんばってほしい。

(委員)

私は1年間だけの任期だったが、大変勉強になった。

(委員)

自治の基本は人づくりだと思う。みんなで支え合って生きていこうという気持ちを持つ人をたくさん作った方がいい。公民館のいろんな教育プログラムの中に地域課題を取り上げた内容を盛り込むことが必要ではないかと思う。現場の課題や取り組みを前面に出していくような公民館であってほしいと思う。

(委員)

私が最近一番思うのは、公民館のあり方と公民館に関わるまちづくり。まちづくり協議会の位置づけを明確にしないといけないと思ったのと、地域で形骸化している組織は整理が必要ではないかと思う。また、社会教育、生涯学習と、まちづくりの協議会の方向性は少し違うのではと思う。これからも勉強させてもらわないといけないが、いろんな情報が入れば入るほどまちづくりというのがすごく難しいと感じている。

(委員)

今、自治連合会の方で加入促進の取り組みをやっているが、なかなか加入率が上がっていかない。社会情勢の変化で、町内会についてのいろいろな情報が流れていて、市議会、県議会でも町内会の加入率が取り上げられている。少しブームになってきたかなというのがうれしく思っている。

この委員会でいろいろな情報や意見をいただき、それが加入促進につながっていく手段として生かしていけたらと思っている。

(委員)

地域の医療福祉においては、地域包括ケアという国の政策によって地域がとりあげられるようになったが、現状、町内会の加入率が非常に悪い。防災にしても医療福祉にしても地域が成り立っていかないといけない。引き続きこのテーマを委員会で取り上げていただけたらありがたい。

(委員長)

いろいろ助けていただきながらなんとか2年間委員長として務められたとこ

ろは皆さんに感謝している。たまたま豊岡で地域組織のあり方検討に携わっていたこともあり、今年フォーラムも豊岡市に協力いただけたということで少しもお役に立てたかと思う。鳥取市ではまさに動き出したというところなので、うまく次の委員会に引き継いで、少しでも市民の生活、暮らしが良い方向につながっていけばよいと思う。

他にないようであれば、以上で第6回市民自治推進委員会を閉会する。